

第4回 笠松町地方創生総合戦略審議会 議事概要

日 時	平成27年9月28日（月） 19:30～20:25
場 所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	岩井会長 奥田委員 葛谷委員 足立委員 岡田委員 岩田委員 森委員 樋口委員 久納委員 船橋委員 汲田委員 浅野委員 (以上12名)
欠席の委員	岩村副会長 (以上1名)
議事概要	① 会長あいさつ 前回の審議会やその後みなさんから貴重な意見をいただいた。今回の資料はその内容を修正したものとなっている。今日の審議で大筋の骨子を決め、次回審議会で答申を行いたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。 ② 町長あいさつ みなさんからの意見や提案を今回の資料としてまとめさせていただいた。パブリックコメントも終了した。審議会で素晴らしい総合戦略をまとめていただけるようご協力をお願いしたい。 ③ 審議（検討・質疑応答等） 〔笠松町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について〕 〈人口ビジョンについて〉 ○ アベノミクス第2弾が発表され、人口に関するところで合計特殊出生率を1.4を1.8に引き上げる目標を掲げられているが、これと町の人口ビジョンとの関係はどうか。 → 国・県の人口ビジョンでは2030年の合計特殊出生率1.8を設定しているが、町では住民意識調査に基づき1.747に設定している。 ○ 道德のまち笠松を「めざして」の表記がひらがなと漢字の部分があるので統一した方がよいと思う。 ○ 14ページ3）については、笠松町のことであるから日本人という表記はいらないのではないか。 〈総合戦略の概要から全体像について〉 ○ 「笠松人のこころ」というのはどのようなことかという具体的な3つのこと 1. 人と人とのつながりを大切にしましょう 2. 地域社会のために自分にできることをしましょう 3. 人として互いに尊重しあいましょう という文言を戦略のどこかに記載していただきたい。 → 記載させていただく。 〈基本目標1「仕事をつくる」について〉 〈基本目標2「笠松に呼び込む」について〉 ○ 未利用地の有効活用のKPIの基準値 -（スラッシュ）というのはどうか。新規ならそれを明記するべきではないか。 → 参考数値がないということで -（スラッシュ）とさせていただいている。 〈基本目標3「人を育む」について〉 〈基本目標4「安心な暮らしをつくる」について〉 ○ 先日の北関東・東北豪雨のような災害が起きると、ボランティアが多数押し寄せて収拾がつかなくなる。社会福祉協議会で進めているボランティアコーディネーターについてはどこかに記載があるか。 → 60ページに災害ボランティアセンターの強化に含めるということで記載している。

- 広域連携についてもっと幅広い分野で記載すべきと考えるが、みなさんの意見はどうか。
- 記載は必要であるとする。名鉄竹鼻線は笠松駅が起点になっているし、戦略の中にベッドタウンという言葉が入っている。笠松駅から離れている下羽栗や羽島市に近い（松枝）地域の利便性も考慮し、竹鼻線を活用したその沿線との連携ということで考えてもよいのではないか。
- 広域連携の流れは6市3町の岐阜広域圏協議会と2市2町で行っている岐阜南部広域連携推進協議会がある。ごみ問題や社会基盤、生活基盤、経済的つながりがある南部広域協議会をうまく活用していきたい。
- 上空から見れば、行政区画は見えないのだから、岐阜圏域にこだわらず、もっと連携を進めていけばよいと考える。
- 近隣自治体との連携を進めるというような文言を入れるということによいか。
- 秩序ある宅地開発の促進のところで、市街化区域の拡大というKPIがあるが実現性があるのか。
- 具体的に動きがあるわけではないが、笠松町の発展を考えると調整区域を市街化区域にしたいという強い思いがあるため、記載をさせていただいた。実現に向けて、ハードルは高いが進めていきたいという町の意味である。

[連絡事項について]

本日の意見をまとめ、必要な見直しを行う。
意見があれば事務局までお願いしたい。

